

科目名		必修・選択	単位数	類型
論理・表現Ⅱ 論理・表現標準		必修	2	普通科 GC 科
教科書 副教材等	be English Logic and Expression II Smart ＋準拠ワークブック(いっずな書店) be 総合英語 English Grammar 30 ＋準拠ワークブック (〃) 文法語法問題集(書名は未定)			

1 学習目標

この科目では、「**be English Logic and Expression II Smart**」教科書を使用し、昨年度学習した内容をより深化させて理解・定着・発展させることを学習目標とします。自己表現に必要な英語の仕組み、すなわち文法・語彙・表現等を反復学習し、ライティングはもちろん、ペア／グループワーク、スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等の活動を通して、3領域（「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」）において論理的な発信能力のさらなる伸張を目指します。最終的に社会的な話題について自分の考えを述べることができるような、英検や大学入試に対応できる実践的表現力の養成も目指します。

2 学習概要

- ア 導入 : 各レッスンのトピックに関する背景知識を知る
文法事項を機能ごとに学び、正確に書く／話すための知識・技能を身につける
- イ 活動（演習）: 学習した文法機能・表現を用いて、提示された場面や状況に応じて、あるいはグラフや図表をもとにして表現の練習を行う
- ウ 活動（実践）: 「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の3領域において、学習した文法機能・表現を応用しながら、各レッスンのトピックに関する生徒自身の情報や意見の発信活動を行う（ライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディベート・ディスカッション等）
- エ その他 : 文法・語法問題集を使って大学入試に対応する実践力を身につける

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業で、各レッスンの文法・語法のポイントを理解し、その知識・技能を使って実際に書いたり、話したり、聞いたりして論理的な表現力の習得を目指します。また授業中は積極的にかつ論理的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を保つことが重要です。授業中に理解できないことがあった場合はその日のうちに質問し、わからないままにすることがないようにしてください。

(2) 家庭学習

- ・予習は、教科書の内容を一読し、事前にどんな内容を学ぶのかを確認しておいてください。その際、わからない単語・熟語・表現は辞書で調べておきましょう。
- ・復習は、授業で学んだ表現を反復練習することで習得します。実際の場面を想定し声に出して表現してみましょう。間違いを恐れずに表現することが大切です。さらに、理由や根拠を意識した英語の発信・受信ができるように学習を進めてください。

(3) 英語力向上のために

- ・毎日継続的に学習をすることが重要です。学習しない日を作らないように意識して勉強してください。英語力は学習量に比例します。実際に英語を話したり書いたりすることを学習の中心に据え取り組んでください。日常的な話題から始めて徐々に社会的な話題についても表現できるように学習を進めてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の3領域を、「知識・技能(①)」「思考・判断・表現(②)」、「主体的に学習に取り組む態度(③)」の3観点で評価を行います。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査(中間・期末考査、学力テスト)……………①、②
- ・授業中の確認テスト(ペーパー)または発表(口頭)……………①、②、③
- ・授業中の発問に対する応答……………①、②、③

- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
 - ・課題や提出物等の提出状況……………①、②、③
- 上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価規準 論理・表現 II	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、3領域(話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい(内容のまとまりごと)	考査等
一学期	Lesson 1 Future Plans	時制 あいづちで関心を示す	中間テスト 期末テスト
	Lesson 2 Free Time at Home	名詞句・名詞節 何かをしようと誘う	
	Lesson 3 Student Life	助動詞 話を切り出す	
	Lesson 4 What You've Learned through Experience	形容詞 感じたことを伝える	
	Lesson 5 Modern Conveniences	形容詞句 理由をたずねる	
二学期	Lesson 6 The Information Society	形容詞節 情報をたずねる	学力テスト 中間テスト 期末テスト
	Lesson 7 Language and Thought	副詞 共感を求める/共感を表す	
	Lesson 8 Emotions and the Workings of the Mind	副詞句 相手を励ます	
	Lesson 9 What Exactly Does Leadership Mean?	副詞節 同情・共感を表す	
	Lesson 10 Introducing Japan	比較 提案する	
	Lesson 11 Making Innovation Happen	仮定法 会話の間をとる	
	Lesson 12 Embracing Diversity in Society	接続詞 共感を表す	
三学期	Lesson 13 Tourism and Japanese Society	「ある」「いる」「かかる」 感謝の気持ちを表す	学年末テスト
	Lesson 14 Food and Health	使役動詞・知覚動詞 具合をたずねる	
	Lesson 15 SDGs and Issues Facing the World	無生物主語 相手の意見に反応する	